

《「2021年度 湯築城歴史塾」 高校生初！講師として研究発表》

～高校生が解明する伊予の伝承-湯築城、狐・小野小町伝承～

《愛媛県立松山北高校》松山市文京町4-1、校長：友沢義弘、郷土研究部顧問：栗名洋一・高橋淳

1 開催日時・会場 等

日 時：令和3年8月1日(月)10:00～12:00

場 所：子規記念博物館4F

発表者：松山北高校郷土研究部

備 考：入場者は70名上限を想定(報道関係者の入場は別枠)

2 発表内容

伊予(四国)には全国に分布する狐伝承がほとんどなく、狸にまつわる伝承が多い。狸伝承の中でも河野氏の有力拠点であった湯築城のものは特に知られる。伝承では北朝方であった河野氏の、戦国期当主通直が狐を四国から一掃した英雄譚として語られる。

「狐」とは何の暗喩なのか？

「狸」とは何者なのか？

また南北朝時代、河野氏に星乃岡合戦で勝利を収めた後醍醐天皇方(のちの南朝方)の有力豪族土居・得能氏の一大根拠地であった松山市小野の「小野谷」には、現在も「小野小町」伝承が残る。(同じく南朝方であった忽那氏の本拠中島の歌崎岬にも小町伝承がある)

民俗学の泰斗柳田國男も書き記した小野谷と歌崎岬の小町伝承。

なぜか、温泉・南朝・薬師信仰と関連づけられて全国に残る小町伝承。

南北朝騒乱期に全国をめぐる遊行僧と小町伝承。

騒乱の時代に「小町」伝承に生き残りをかけた南朝方武士団の念いが、700年の時を経て、今読み解かれる。

3 松山北高校郷土研究部のプロフィール

昨年度「地域の伝承に学ぶ」コンテスト(國學院大學主催)にて優秀賞(第二席)受賞。

本年度は小野出身の部員が持ち込んだ「小野小町」伝承の研究により全国優勝をねらう。